

検 定 意 見 書

受理番号 104-55		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について、複数のニュースや講演などから…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「社会的な話題について、複数の論証文や記録文などから…必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細をまとめる活動。」)	2-(1)	
3	5	Talk!	Why? 他：55, 97ページTalk!の同表現	英語の現代慣用によっていない。 (設問との対応)	固有 2-(1)	
4	9	下段	Target(全体) 他：25ページTarget(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
5	18		Step 1, 2(全体) 他：46, 62, 82ページのStep 1, 2(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
6	20	左下写真	HOMIES	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
7	31	上	図, グラフ	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)	
8	63	中囲み	都市名	相互に矛盾している。 (地名との対応)	3-(1)	
9	63	イラスト	Great Cat!	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
10	68	上	グラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-55		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	95	中段	TASK A(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
12	112	左欄 13行	the Imperial Hotel 帝国ホテル	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
13	114	左欄 19行	カイコ 他：138ページ右欄16行	誤りである。 (同行spirogyraとの対応)	3-(1)	
14	142	右欄 27行	White 他：右欄28行white	相互に矛盾している。 (日本語訳との対応)	3-(1)	
15	142	右欄 29行	WhiteHouse	誤植である。 (スペースがない。)	3-(2)	
16	142	右欄 29行	ホワイトハウス	表記が不統一である。 (左欄6-7行[the Vatican Museumsで]バチカン美術館に照らして、表記が不統一)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-56		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について、複数のニュースや講演などから…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「社会的な話題について、複数の論証文や記録文などから…必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細をまとめる活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
5	12	上段	Summary 1, 2 (全体) 他: 24, 34, 46, 60ページのSummary 1, 2 (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)の「単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
6	14	脚注 1行	game(s)の発音表記	不正確である。 (括弧内の子音表記)	3-(1)	
7	17	WarmUp	afternoon tea, bamboo table, idea pleasesの強勢表記 他: Act It Out!のJapanese restaurant, Piccadilly Circus (2箇所)の強勢表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
8	17	脚注 1行	Hydeの発音表記 他: 64ページ脚注1行Piper, 2行shine	表記が不統一である。 (43ページ脚注7行lifeworkの第1音節の母音表記と不統一)	3-(4)	
9	19	Goalso	Speaking (Presentation)の目標 他: 29, 67, 77, 107ページの同目標, 39, 87, 97ページのSpeaking (Interaction)の目標	相互に矛盾している。 (当該Lessonの活動との対応)	3-(1)	
10	43	側注 3行	Southeastの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-56		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	49	Scene	松本紀生さんの公式ウェブサイトのURL	学習上の参考に供する情報を参照させるウェブページのアドレスは、発行者が管理するものでない。	2-(18)	
12	51	漫画2コマ	/zet/, /zed/	不正確である。 (強勢表記がない。)	3-(1)	
13	55	側注15行	prize-winningの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
14	59	側注4行	criterionの発音表記	表記が不統一である。 (133ページ側注2行seriouslyの第1音節の母音表記と不統一)	3-(4)	
15	63	中段吹出し	The results of this study suggest music can also be effective for human beings to make their life span longer.	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
16	64	脚注1行	seashoreの発音表記	表記が不統一である。 (脚注1行seashell(s)の第1音節の母音表記と不統一)	3-(4)	
17	75	Too lBo	お得な取引, お得情報	不正確である。 (英語との対応)	3-(1)	
18	85	大問3.	We have three reasons.	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)	
19	88	側注4行	Ontarioの発音表記 他: 91ページ側注11行humanitarian	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
20	104	脚注1行	instagrammableの発音表記	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-56		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	119 - 126		本文に付された日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
22	120	11	make!	誤記である。 (感嘆符)	3-(2)	
23	127	Reading	大問A. B. (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
24	140	15	homeruns 他：141ページ脚注2行homerun(s)	英語の現代慣用によっていない。 (1語での表記)	固有 2-(1)	
25	147	Questions	2行 SpeechJammar	表記が不統一である。 (146ページ中段囲み10行SpeechJammerと表記が不統一)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-57		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について、複数のニュースや講演などから…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。」)	2-(1)	
3	6	Reading	速く読むトレーニング 他：7ページReading 1「深く読むトレーニング」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「英語コミュニケーションⅢ」で行う学習について誤解するおそれ)	3-(3)	
4	7	1 - 2	大学入試を意識した	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習の目的について誤解するおそれ)	3-(3)	
5	11	中段1 0行	3-4 他：56ページ5行197-198, 68ページ12行1877-1956, 181ページ右欄8行3-5, 14行15-30	誤植である。 (ハイフン)	3-(2)	
6	40	1. Use	Try It Out (全体)	生徒が誤解するおそれのある活動である。 (hesitation deviceを積極的に使ってよいと誤解するおそれ)	3-(3)	
7	41	全体	辞書に頼らない和文英訳 他：144～145ページ辞書に頼らない和文英訳	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)の「単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
8	90	5	challenge to living 他：9行challenges to living	表記が不統一である。 (囲み2行challenges of livingとの対応)	3-(4)	
9	95	囲み1 0行	a naughty	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
10	101	2	The shorts strokes	表記が不統一である。 (11行Short brush strokesとの対応)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-57		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	146	1	Some writing tests ask you 他：148, 150ページ1行の同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (テストのための学習であると誤解するおそれ)	3-(3)	
12	149	上グラフ	折れ線グラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)	
13	150	8	1. Start by stating your opinion 他：9行 2の文	表記が不統一である。 (ピリオド)	3-(4)	
14	160	左欄2 1	Ebbinghaus forgetting curveの発音 表記 他：166ページ右欄下から3行animal- shapedの発音表記, 171ページ左欄17 行toothpasteの発音表記, 173ページ	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
			左欄7行plant-basedの発音表記			
15	167	左欄2 6行	intentionallyの発音表記	不正確である。	3-(1)	
16	168	左欄最 下行	entourageの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
17	168	右欄下 から4	preludeの発音表記	表記が不統一である。 (163ページ左欄下から7行stupidの第1音節の発音表 記と不統一)	3-(4)	
18	169	33	re-adjustの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
19	199	1	The Starry Sky	生徒にとって理解し難い表現である。 (側注The Starry Nightとの対応)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-59		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について、複数のニュースや講演などから…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「社会的な話題について、複数の論証文や記録文などから…必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細をまとめる活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
5	5	1	Points of the Lesson 他：6ページ1行、各Lesson扉ページの同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
6	7	2	If yes,	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (yesの場合しかない。)	2-(1)	
7	8	脚注 1行	internationallyの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
8	10 - 11	19 - 1	as the professional gamers	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
9	12	12	E-sports Course 他：脚注5行の同表現	表記が不統一である。 (5行E-sports Courseに照らして、表記が不統一)	3-(4)	
10	17		大問3	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…発表…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意す	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-59		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
				ること。」)		
11	17	大問3	Olympic games	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
12	18	タイトル	the origin of e-sports	表記が不統一である。 (2ページ4行the Origin of E-sportsに照らして、 表記が不統一)	3-(4)	
13	19	1 - 4	SPACE INVADERS, Tetris, Street Fighter II, Virtua Fighter 2 他：側注1-9行の同表現及びカナ表記	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
14	22	脚注 1行	fisheryの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
15	22	脚注 2行	sensationalizeの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
16	27	脚注 3行	aggregateの発音表記	不正確である。 (本文14行aggregateとの対応)	3-(1)	
17	36	側注 5行	Soubreの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
18	37	8	2018-19 他：9行 2013-14, 41ページ11行 2008-09, 12行 2018-19	誤植である。 (ハイフン)	3-(2)	
19	38	側注 2行	Alain-Didierの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-59		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	39	10	machetes ;	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	
21	42	脚注 3行	convinct of ~	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
22	42	脚注 4行	sentence to ~ 他：174ページ28行の同表現，27行 convict of ~，144ページ脚注3行， 176ページ16行のaccuse of ~	表記が不統一である。 (175ページ22行link ~ to ...に照らして，表記が 不統一)	3-(4)	
23	47	脚注 1行	noteworthyの発音表記	不正確である。 (子音表記)	3-(1)	
24	52	脚注 1行	climatic	誤りである。 (本文2行climacticとの対応)	3-(1)	
25	55	写真キ ャプシ	本編の話者	不正確である。 (話者)	3-(1)	
26	57	脚注 3行	polyglotの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
27	59	2	Why do foreigners live in Japan?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
28	60	側注 6行	Vietnameseの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
29	61	グラフ	グラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-59		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
30	64	8 - 10	the membership fees of jichikai ... were where the two groups faced a gap	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
31	70	上段	彼らは忙しくて子どもの教育にまで手がまわりません。彼らの子どもたちが学校で落ちこぼれ	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
32	71	12	genuine humans	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
33	72	大問1	A, Bの表 他：128ページ上段“How do you get information?”のグラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)	
34	84 - 85		Optional Reading Lesson 5 (全体)	表記が不統一である。 (71ページ13行に照らして、語数の表記がない。)	3-(4)	
35	86		大問1に付されたアイコン 他：100ページ大問2に付されたアイコン	相互に矛盾している。 (指示文に示された活動とアイコンとの対応)	3-(1)	
36	88	脚注 3行	line 16	相互に矛盾している。 (本文15行theyとの対応)	3-(1)	
37	99	1 - 10	Why did our government and our medical community ignore ... to forget about the Deaf entirely.	一面的な見解を十分な配慮なく取り上げている。	2-(6)	
38	99	Aft erR	Q3 (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (大学入試と塾との関係について誤解するおそれ)	3-(3)	
39	104	脚注 3行	the mental peace	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-59		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
40	108	脚注 4行	almost same 他：175ページ31行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
41	117	脚注 3行	cilents	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
42	118	脚注 1行	ally	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
43	122	5, 8	her, him	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
44	131	脚注 3行	to to pick up	誤りである。 (toの重複)	3-(1)	
45	139	大問2	on your own pace	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
46	146	4	unsatisfactory..."	誤記である。 (文末)	3-(2)	
47	155	10	it's more polite.	誤記である。 (文頭の小文字)	3-(2)	
48	156		大問2 (全体)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (大問1の例をどのように使ってよいかわからず、活動できないおそれ)	2-(1)	
49	164	Sum mar	9行 Meanwhile	誤記である。 (語頭の大文字)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-60		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について、複数のニュースや講演などから…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
2	26	8	Siri 他：10行、写真キャプション、下囲み1行の同表現、8行iPhone、28ページ8行PARO、右下写真キャプションのPAROs	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
3	37	大問2	YouTube 他：LINE、69ページ吹き出しYouTube(2箇所)、Amazon	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	57	73	Ever since	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
5	60	9	40,000-50,000	誤植である。 (ハイフン)	3-(2)	
6	69	脚注	Why?	英語の現代慣用によっていない。 (前文との対応)	固有 2-(1)	
7	92	写真	SAMSUNG及びNOKIA	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
8	92	写真	TEX PEN	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
9	101	図	Where Seya workedの地図	不正確である。 (国境線)	3-(1)	
10	103	148	Then, 他：同109ページ20行	英語の現代慣用によっていない。 (コンマ)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-60		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	103	脚注1行	Seya feels that knowledge and skills are not enough ...	表記が不統一である。 (103ページ166行having knowledge and skillsとの対応)	3-(4)	
12	126	Step 2	with	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
13	139	74 - 75	The washing practice has passed on for several generations.	英語の現代慣用によっていない。 (動詞)	固有 2-(1)	
14	145	大問2 3行	\$ 1.9	不正確である。 (小数点以下の表記)	3-(1)	
15	147	52	than most other people	英語の現代慣用によっていない。 (other people)	固有 2-(1)	
16	155	22 - 23	By the time you grow up, your basic nature has changed.	英語の現代慣用によっていない。 (相)	固有 2-(1)	
17	180	14	situation	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
18	184 - 186	全体	Functional Expressions	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
19	187	右欄4 行	revealの発音表記 他：右欄最下行rewarding, 188ページ 右欄35行resemble, 191ページ右欄24 行restore, 36行replacement, 192ペ ージ右欄29行regain, 193ページ左欄	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
			14行resist, 18行regret, 右欄23行 respectable, 194ページ右欄4行 repairer, 24行repairable, 195ペ ージ左欄最下行retrieve, 198ページ右 欄最下行reluctant, 201ページ右欄13			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-60		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			行remark			
20	188	左欄29行	Siriの発音表記	不正確である。	3-(1)	
21	196	右欄8行	Davidsonの発音表記	不正確である。 (右欄17行preservationに照らして、語末の発音表記が不正確)	3-(1)	
22	197	左欄3行	craftsmanの発音表記 他：8行craftsmanship	不正確である。	3-(1)	
23	198	右欄10行	ofの発音表記	不正確である。	3-(1)	
24	202	左欄最下行	nasalityの発音表記	不正確である。	3-(1)	
25	202	右欄17行	harrowingの発音表記	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-61		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(ア)の「…日常的な話題について…明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。」)	2-(1)	
2	7	下囲み	話す活動(発表)のアイコン	生徒にとって理解し難い表現である。 (当該アイコンが図書内に示されておらず、理解し難い。)	3-(3)	
3	7	最下行	特にコミュニケーション重要な語	脱字である。 (コミュニケーション重要)	3-(2)	
4	26	側注 3行	FAOの発音表記	不正確である。	3-(1)	
5	34	下段	[1](4箇所) 他: 42ページ[t]	不正確である。	3-(1)	
6	38	囲み	Listening Tips及び右吹き出し(全体)	不正確である。 (音の脱落の説明及び例として不正確)	3-(1)	
7	57	下段	元素記号を英語と日本語で表したものです。	不正確である。 (元素記号)	3-(1)	
8	77	下段	For Your Information	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
9	82	脚注 1行	string(s)の発音表記 他: 脚注3行maraca(s)の発音表記	不正確である。 (括弧内の子音表記)	3-(1)	
10	86	側注 1行	Nascaの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-61		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	86	側注 12行	newlyの発音表記 他：87ページ側注7行 time-consumingの発音表記	不正確である。 (英音表記)	3-(1)	
12	99	下段	地図	不正確である。 (塗色)	3-(1)	
13	104	問3	What problem may taking a nap at school cause?	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (102ページ本文との対応)	3-(3)	
14	125	脚注 1行	Marillaの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
15	126	脚注 1行	Barryの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
16	126	脚注 1行	Carmodyの発音表記	不正確である。 (長音符の位置)	3-(1)	
17	126	脚注 2行	Avonleaの発音表記	不正確である。	3-(1)	
18	128	脚注 3行	Matthewの発音表記	不正確である。 (不要な括弧)	3-(1)	
19	142	最下行	Idina Menzelの発音表記	不正確である。	3-(1)	
20	143	脚注 2行	beneficialの発音表記	不正確である。 (語末の子音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-62		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	9 - 10	17 - 1	Moe: I have no idea! Moe: I sometimes notice	生徒にとって理解し難い表現である。 (文脈について)	3-(3)	
2	13	脚注 3行	apartの発音表記	不正確である。 (カタカナ表記の太字)	3-(1)	
3	23	脚注 4行	vanの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
4	31	側注 10行	conductの発音表記	不正確である。 (本文7行conductedに照らして、発音表記が不正確)	3-(1)	
5	33	1	Japanese-style "Sports Day," or undokai, are 他: 2行were, 4行were, 13行 encourage, 問1①were	英語の現代慣用によっていない。 (動詞の形)	固有 2-(1)	
6	37		WORD BUILDER (全体) 他: 69ページWORD BUILDER (全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(2)	
7	38	最下行	a field trip	生徒にとって理解し難い表現である。 (タイトル及び写真との対応)	3-(3)	
8	45	脚注 3行	renewの発音表記 他: 57ページ脚注1行renewal, 79ページ 脚注1行tutorialの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
9	46	上囲み	2-3行 with today's "Two Minute Health Corner" 他: 下囲み2-3行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
10	57	脚注 2行	complementの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-62		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	66	グラフ	グラフ	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(11)	
12	73	上段	“PEOPLE SEEKING SAFETY WORLDWIDE IN NUMBERS”と“THE WORLD’S TOP 10 REFUGEE HOST COUNTRIES”の表	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(11)	
13	73	側注 14行	Myanmarの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
14	77	11	出版社：福音館書店 他：18行出版社：ひさかたチャイルド	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
15	77	脚注 2行	NGOの強勢表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
16	77	脚注 2行	folktaleの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
17	86	PRACTI	both locally	生徒にとって理解し難い表現である。 (文脈との対応)	3-(3)	
18	87	脚注 3行	Armstrongの発音表記	不正確である。 (英音表記)	3-(1)	
19	88	グラフ	“Abilities Students Think They Already Have”と“Abilities Students Lack, But Need to Attain”のグラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)	
20	89	大問2	A: Do you think you have the ability to control stress? B: Yes, I’m pretty sure I can.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-63		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について、複数のニュースや講演などから…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「社会的な話題について、複数の論証文や記録文などから…必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細をまとめる活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
5	2	最下段	The Birth of Human Mind 他：124ページタイトル	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
6	16	22	as much as I'd like	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
7	17	New Wo	新語の発音表記 他：各ページの新語の発音表記	表記が不統一である。 (12ページ発音記号一覧との対応)	3-(4)	
8	17	12	Rohingyaの発音表記	不正確である。 (第1音節の発音表記)	3-(1)	
9	21	1 - 2	on the communication notebook	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
10	27		Column 1 (全体) 他：138-139ページColumn 4 (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-63		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	29	7	car accident	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
12	31	Key Wo	He will compete in a 10km road race again this year.	相互に矛盾している。 (想定される解答との対応)	3-(1)	
13	31	最下行	the Paralympic athletes behaved a lot like athletes without disabilities	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (30ページ23-24行との対応)	3-(3)	
14	33	5	the Olympic	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
15	33	5	Introduction	誤植である。 (語頭の大字)	3-(2)	
16	35	側注2 行	Rusty Glickmanの発音表記	不正確である。 (母音の発音表記)	3-(1)	
17	40	STE P 2	The name of sport	表記が不統一である。 (The history of the sportとの対応)	3-(4)	
18	41	STE P 2	Can I talk to you now?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
19	70	18	(GPS)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (satellite-based positioning systemとの対応)	3-(3)	
20	80	21	Dall' Ara - president	誤植である。 (ハイフン)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-63		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	80	22	ADI (Alberghi Diffusi Association) 他：81ページ20-21行the National Association of Diffused Hotels (ADI)	生徒にとって理解し難い表現である。 (括弧内との対応)	3-(3)	
22	82	11	Seijii	誤記である。 (83ページ20行Seijiとの対応)	3-(2)	
23	83	大問2 4	Inference	生徒にとって理解し難い表現である。 (質問と選択肢との対応)	3-(3)	
24	85	6	learning different culture	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
25	85	7	Hopefully, I want to join	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
26	85	囲み3 行	your hotels	相互に矛盾している。 (囲みの内容との対応)	3-(1)	
27	87	Ste p 2	the tourists from overseas stays	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)	
28	87	Ste p 2	they can	誤りである。 (canの位置)	3-(1)	
29	89	写真	Wheather	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
30	92	1	we	表記が不統一である。 (タイトルのWeに照らして、表記が不統一)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-63		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
31	92	側注3行	Lera Boroditskyの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
32	94	4	"sturdy"	誤記である。 (ピリオドがない。)	3-(2)	
33	103	9	flight surgeon	表記が不統一である。 (102ページ11行 a flight surgeonとの対応)	3-(4)	
34	103	側注6行	afterwardsの発音表記	不正確である。 (英音表記)	3-(1)	
35	105	16	offered for me	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
36	105	21	I tell them that that this will be a job	誤りである。 (thatの重複)	3-(1)	
37	105	側注10行	nutritionの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
38	112	側注11行	not-so-distantの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
39	118	下段2行	オバマ前米大統領	誤記である。	3-(2)	
40	119	グラフ	グラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-63		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
41	129	5	people fails	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)	
42	129	13 - 14	"The Birth of Human mind" 他：同20行	不正確である。 (作品名の表記)	3-(1)	
43	133	32	in crisis situation	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
44	140	下囲み	Vocabulary Box (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…やり取り…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
45	151	4	(p. 70) 他：152ページ34行(p. 114), 153ページ26行(p. 126)	誤記である。	3-(2)	
46	152	18	in the image of A	相互に矛盾している。 (例文との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-64		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について、複数のニュースや講演などから…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「社会的な話題について、複数の論証文や記録文などから…必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細をまとめる活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
4	6	中段	PANORAMA 他：7ページ下段右、146ページ左欄2-3行(2箇所)の同表現	誤記である。	3-(2)	
5	9	大問①	1.の選択肢A. B. C.	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (場面設定がなく、解答できないおそれ)	2-(1)	
6	15	Target	Japanese traditional comedy performances. 他：25ページ下段Target Taskの同表現	英語の現代慣用によっていない。 (語順)	固有 2-(1)	
7	16	側注 5行	preverbalの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
8	18	側注 21行	physiologicalの発音表記	不正確である。 (不要な括弧)	3-(1)	
9	18	下段	イラスト	生徒が誤解するおそれのある図である。 (18ページ本文との対応)	3-(3)	
10	19	側注 10行	bacteriaの発音表記 他：30ページ側注11行appearance, 31ページ側注5行vegetarian, 56ページ側注12行deteriorating	表記が不統一である。 (側注12行virus(es)の第1音節の発音表記と不統一)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-64		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	20	側注 12行	fosterの発音表記 他：54ページ側注19行rainfall, 56ページ側注27行small-scale, 66ページ側注5行alternative, 78ページ脚注8行Jobs, 90ページ脚注1行belonging	表記が不統一である。 (80ページ脚注2行concentrationの第1音節の母音表記と不統一)	3-(4)	
			(s)			
12	21	側注 9行	compare to ~ 他：144ページ左欄33行の同表現□	表記が不統一である。 (21ページ側注10行bring ~ into ... と表記が不統一)	3-(4)	
13	23		Share Your Thoughts (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「…書くことの指導に当たっては…文章などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
14	28	側注 22行	grove(s)の発音表記 他：68ページ側注22行blessing(s), 102ページ脚注7行Aztec(s), 116ページ脚注2行induce(d)	不正確である。 (語末の発音表記)	3-(1)	
15	31	The Gis	Their strong jaw	英語の現代慣用によっていない。 (代名詞)	固有 2-(1)	
16	33	The Gis	There are reasons ... keep working to () them.	生徒にとって理解し難い表現である。 (文脈)	3-(3)	
17	34	B-1 の1.	very important animal	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
18	34	B-2 ②	eat bamboos	表記が不統一である。 (B-1 Part 2の4. eat bambooと不統一)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-64		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	35	ShareY	Write your ideas about the following questions:のコロン	表記が不統一である。 (23ページShare Your Thoughtsの同文のピリオドと不統一)	3-(4)	
20	39	Warm-u	②What Aya most likely to do next?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
21	44	表	“necessary amount of virtual water needed to produce foods” の表	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
22	53	側注 8行	low-pricedの発音表記 他：57ページ側注8行consumer(s), 82 ページ脚注1行hunter-gatherer(s)	不正確である。 (語末の発音表記)	3-(1)	
23	53	The Gis	Italian-style coffee has became	英語の現代慣用によっていない。 (動詞の形)	固有 2-(1)	
24	59	ShareY	Do you have experience with fair trade products?□	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
25	60	STE P2	3行 a big business	表記が不統一である。 (56ページ1行に照らして、表記が不統一)	3-(4)	
26	60	STE P2	4行 Recently, coffee () () more familiar	英語の現代慣用によっていない。 (Recentlyと想定される答えとの対応)	固有 2-(1)	
27	60	下段	写真	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
28	67	The Gis	it felt () to plan for the future.	生徒にとって理解し難い表現である。 (空所に入る語が複数あり理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-64		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
29	67	Thi nka	Talk in pairs about.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
30	72	STE P2	5行 you going to do	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
31	78	脚注 7行	Andersの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
32	78	脚注 8行	iPad 他：79ページ5行の同表現	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
33	78	脚注 9行	SNS 他：79ページ4行，82ページ14行，83 ページ2行，84ページ大問Bの1.C.，86 ページSTEP 2の4，9行，87ページ [Sample] 1行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
34	80	8	how subtly this effect can be.	英語の現代慣用によっていない。 (subtly)	固有 2-(1)	
35	81	Thi nka	smartphone have	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
36	82	15 - 16	our body healthy state	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
37	86	下段	写真	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
38	89	最下行	someone invade	英語の現代慣用によっていない。 (動詞の形)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-64		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
39	93	1	strangers	表記が不統一である。 (94ページ4行States, に照らして, コンマの付け方が不統一)	3-(4)	
40	99	2	a experience	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
41	102	3	Hunter and gather societies	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
42	106	脚注 4行	markの発音表記	不正確である。 (英音表記)	3-(1)	
43	107	中段	2枚の写真	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
44	113	War m-u	10行 following questions□ 他：125ページ10行の同表現	表記が不統一である。 (101ページ11-12行the following questionsに照らして, 表記が不統一)	3-(4)	
45	116	脚注 8行	Rizzolattiの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
46	122	STE P2	3行 the price of it's canned soup	英語の現代慣用によっていない。 (it's)	固有 2-(1)	
47	123	Sam ple	3行 only a limited period	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
48	131	10 - 11	Even appropriate technology and planning,	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-65		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
2	表見返	下段右	- How we parted from chimpanzees - 他：3, 4ページの同表現	誤植である。 (ハイフン)	3-(2)	
3	27	4 - 5	2 Research has … the disaster.	生徒にとって理解し難い表現である。 (26ページThesis Statement及びPracticeとの対応)	3-(3)	
4	27	23	reasons	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
5	28 - 30		Expressions for Communication Explorer (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
6	28	グラフ	グラフのタイトル	生徒にとって理解し難い表現である。 (plam oil)	3-(3)	
7	34	グラフ	Energy intensity of travelのグラフ	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)	
8	39	21	Write your opinion on the topic (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「…書くことの指導に当たっては…文章などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
9	108	21	jetlag	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-65		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	113	最下行	What is a time you thought nature is fascinating	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
11	150	16	while board skating	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
12	180	19	known for a master	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
13	180	19 - 20	The cheek, jowl, and chin of the woman in the picture seems	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)	
14	180	27	pointed by	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
15	183	20	cometition	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
16	184	5 - 6	transportation power in factories, heating in homes and offices, and to create electricity	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
17	184	12	to close	英語の現代慣用によっていない。 (11行been closedとの対応)	固有 2-(1)	
18	203	左欄1 6行	Viennese Ballの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
19	206	右欄2 6行	nutritionの発音表記 他：nutritional, 224ページ左欄5行 nutritiousの発音表記	表記が不統一である。 (198ページneuronの母音表記との対応)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-65		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	212	左欄7行	Barnesの発音表記	表記が不統一である。 (216ページharnessの母音表記との対応)	3-(4)	
21	223	左欄13行	Fibonacciの発音表記 他：右欄最下行tapiocaの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
22	裏見返Ⅳ	1	息を	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (有声音でも息を出すと誤解するおそれ)	3-(3)	
23	裏見返Ⅳ	5	舌先	表記が不統一である。 (2 舌を使って出す音との対応)	3-(4)	
24	裏見返Ⅳ	5	上あごの奥 (のどの奥)	生徒にとって理解し難い表現である。 (動かすことのできる調音器官として理解し難い。)	3-(3)	
25	裏見返Ⅳ	2②	舌先を上歯茎につけて	生徒にとって理解し難い表現である。 (/s//z/の発音として理解し難い。)	3-(3)	
26	裏見返Ⅳ	2②	/tr/ (無声) /dr/ (有聲)	生徒にとって理解し難い表現である。 (子音の分類として理解し難い。)	3-(3)	
27	裏見返Ⅳ	2③	急に離してすき間から 他：Vページ18-19行, 21-22行急に離して	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
28	裏見返Ⅳ	3	上あごの奥を下げて 他：Vページ左欄7行上あごの奥を舌の奥につけ、左欄31行上あごの奥をつけ	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
29	裏見返Ⅴ	右欄16	アよりものどの奥のほうから。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-66		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について、複数のニュースや講演などから…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(ア)の「…日常的な話題について…明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。」)	2-(1)	
4	2	6	域社会	脱字である。	3-(2)	
5	15	側注 4行	nutritionの発音表記 他：26ページ側注5行tuberculosis	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
6	21		Writing (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「…書くことの指導に当たっては…文章などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
7	39	13	recentrly	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
8	56	下段	グラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
9	60	13	The title that the authors caught the intention of readers.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-66		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	62	22	() ideas toward certain ideas	英語の現代慣用によっていない。 (ideas)	固有 2-(1)	
11	65	2	Figure.1 Figure.2	不正確である。 (不要なドット)	3-(1)	
12	65	グラフ	Figure.1	相互に矛盾している。 (64ページ5行90 cat owners and 92 dog ownersとの対応)	3-(1)	
13	65	12	ideas that is ... but you think is not	誤りである。 (is)	3-(1)	
14	69	15	widespread now 他：74ページ19行の同表現	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	
15	71		Baa Baa Black Sheepの図	生徒にとって理解し難い図である。 (本文との対応)	3-(3)	
16	78	5	()and	誤植である。 (スペースがない。)	3-(2)	
17	80	7	hearing impaired	表記が不統一である。 (123ページ17行に照らして、表記が不統一)	3-(4)	
18	105	8	someone as young as you need	英語の現代慣用によっていない。 (動詞の形)	固有 2-(1)	
19	111	10 - 11	their skeletal structure was became 他：115ページ7行の同表現	誤りである。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-66		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	116	19	complaint foxes	英語の現代慣用によっていない。 (complaint)	固有 2-(1)	
21	117	1	“Elite foxes” in this text means	英語の現代慣用によっていない。 (動詞の形)	固有 2-(1)	
22	117	5	the changes in the foxes was observed	英語の現代慣用によっていない。 (動詞の形)	固有 2-(1)	
23	117	15	changes ... is□	誤りである。 (is)	3-(1)	
24	119	18	waht	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
25	121	7	one even became even a tool user.	英語の現代慣用によっていない。 (even)	固有 2-(1)	
26	121	9	the how	英語の現代慣用によっていない。 (the)	固有 2-(1)	
27	127	下囲み 1行	アダム	誤記である。	3-(2)	
28	130	14 - 15	the author was at first ... at first	英語の現代慣用によっていない。 (at first)	固有 2-(1)	
29	134	17	her class	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-66		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
30	138	側注 13行	Angliaの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
31	138	側注 15行	calculateの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
32	139	地図	地図	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
33	139	側注 3行	Chineseの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
34	164	14 - 15	crash violently into () () () .	相互に矛盾している。 (想定される答えとの対応)	3-(1)	
35	165	12	tha	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
36	167	16	Blue-rich white light are known	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
37	167	23	teke	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
38	170	脚注 4行	diverseの発音表記	表記が不統一である。 (173ページ脚注1行ideologyの発音表記に照らして , 表記の仕方が不統一)	3-(4)	
39	171	脚注 2行	imploreの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 104-67		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について、複数のニュースや講演などから…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
2	7	OUTPUT	読むこと及び話すこと(発表)のアイコン 他：9ページ	相互に矛盾している。 (どのLessonのOUTPUTにも読むこと及び話すこと(発表)のアイコンが示されていない。)	3-(1)	
3	14	16	landscape'. 他：18ページ13行Route',	英語の現代慣用によっていない。 (引用符を閉じる位置)	固有 2-(1)	
4	16	側注 2行	pam	不正確である。 (Pamの発音表記として不正確)	3-(1)	
5	30	側注 7行	tuberculosisの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
6	41	Write	Write(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「…書くことの指導に当たっては…文章などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
7	49	写真下	magic tape 他：50ページ16行、側注19行、 51ページ12、17行、58ページ9行、 60ページ3行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
8	49	写真下	マジックテープ 他：50ページ側注20行、51ページ最下行	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
9	49	最下行	Part 3のキーワード	生徒にとって理解し難い表現である。 (写真との対応)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-67		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	52	側注 11行	kingfisherの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
11	60	6	the fur	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	
12	79	上囲み	日本においても…新しい用語が定着していった。	生徒にとって理解し難い表現である。 (例との対応)	3-(3)	
13	86	側注 8行	Adriatic Seaの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
14	88	15	How do movable flood barriers	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
15	115	右下写真	評論社	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
16	115	最下行	Q(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…発表…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
17	117	7	any other examples of Equity?	英語の現代慣用によっていない。 (語頭の大文字)	固有 2-(1)	
18	117	12 - 15	例1, 2	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習活動について誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-67		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	119	図	地図	不正確である。	3-(1)	
20	119	下囲み	～(3箇所)	誤植である。	3-(2)	
21	121	7	half of the population are	誤りである。 (主語に対応するbe動詞)	3-(1)	
22	132	側注 4行	UNESCOの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
23	132	側注 11行	Okinawanの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
24	133	1	recently, many young people are	英語の現代慣用によっていない。 (recentlyと共に用いられる時制)	固有 2-(1)	
25	139	3 - 7	アイヌ語「ヒンナ」とは、アイヌ語で…アイヌ文化の消失はアイヌ語の消失を意味する。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
26	169	9	those who remains	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-68		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	2	15	Lesson7	誤植である。 (スペースがない。)	3-(2)	
2	10	25	for example [instance] 他：11ページ8行in short [brief] 9行to summarize [sum up]	表記が不統一である。 (14行first(ly) [first of all] との対応)	3-(4)	
3	20	20	disconnected to	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
4	45	24	potentials	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
5	71	14	the starting time 他：同行the finishing time	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
6	92	6 - 7	by an advertisement or a commercial	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
7	92	20	malls, often	誤記である。 (不要なコンマ)	3-(2)	
8	105	6	freeway One 他：22行	英語の現代慣用によっていない。 (語頭の小さい文字)	固有 2-(1)	
9	125	13 - 23	6. 音の脱落(リダクション)(全体)	不正確である。 (脱落の説明及び例になっていない。)	3-(1)	
10	128	下段	③(全体) 他：129ページ①, 130ページ①, 131 ページ①, 135ページ②③(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-69		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	9	26	but...	表記が不統一である。 (39ページ2行but...に照らして、表記が不統一)	3-(4)	
2	10	14	meat 他：15行	表記が不統一である。 (16ページ5行meatsに照らして、表記が不統一)	3-(4)	
3	10	14	beef, pork and chicken	表記が不統一である。 (16ページ5-6行beef, pork, and chickenに照らして、表記が不統一)	3-(4)	
4	11	17	英語では「内容のある語」…は、強く発音されます。 他：18行文の最後にくる「内容のある語」が、もっとも強調して発音されます。	相互に矛盾している。 (12行「強く発音する音節」との対応)	3-(1)	
			22行always, father, futureの赤文字, future「もっとも強調して発音」の矢印と波線, 24行libraryの太字部分, 26-27行library(文の最後の「内容の			
			ある語」)がもっとも強調して発音されます。			
5	11	17 - 18	内容のある語(2箇所)	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
6	11	25	I met John in the library.	英語の現代慣用によっていない。 (24行との対応)	固有 2-(1)	
7	15	5	the Japanese traditional technique of kintsugi	英語の現代慣用によっていない。 (Japanese traditional)	固有 2-(1)	
8	15	8	will spent	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-69		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
9	16	側注 6行	substitute(s)の発音表記 他：26ページ側注4行mass-produceの 発音表記	不正確である。 (英音表記)	3-(1)	
10	22	10	lunch boxes	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
11	25	24	phrases	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
12	30	脚注 2行	violetの発音表記	不正確である。 (不要な括弧)	3-(1)	
13	32	脚注 4行	bather	相互に矛盾している。 (発音表記では複数形も併記)	3-(1)	
14	32	最下行	Rotoruaの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
15	37	30	go to ~. 他：同行visit ~ for my report.	誤植である。 (記号)	3-(2)	
16	42	脚注 2行	Favio Chavezの発音表記 他：脚注3行Cateura, 最下行Nicolas Gomezの発音表記	表記が不統一である。 (本図書で用いられている母音表記と不統一)	3-(4)	
17	50 - 51		Vocabulary for Activities(全体) 他：56-57, 62-63, 68-69, 74-75, 80-81ページのVocabulary for Activities(全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(2)	
18	59	29	eco-bag 他：31行, 36行, 脚注2行の同表現, 34行, 60ページ20行のeco-bags, 60ペ ージ14行のEco-bags	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-70		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	43	Compre	CASE 1, 2 (全体) 他: 51, 53ページComprehension①, 65ページComprehension③, 98ページ Comprehension③④及び「本文の構成 を確認しよう。」(全体), 104ペー	生徒が誤解するおそれのある問いである。 (活動内容について誤解するおそれ)	3-(3)	
			ジComprehension③, ④ (全体)			
2	53	WhatDo	①"membership employment"	表記が不統一である。 (50ページ2行"membership-based employment"との 対応)	3-(4)	
3	55	Compre	②What does Haruka want at work?	英語の現代慣用によっていない。 (想定される答えとの対応)	固有 2-(1)	
4	86	③	例2. but I, get away 他: 最下行 (1) it out.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (例2. の見出し「変わる音」との対応)	3-(3)	
5	86	③	例3. good job, take care 他: 最下行 (2) good day, (3) hot soba	不正確である。 (例3. の見出し「消える音」との対応)	3-(1)	
6	118		[1]の問題 (全体) 他: 121ページ[7], 122ページ[9]の問題 (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」 の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」 について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げ ていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 104-71		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について、複数のニュースや講演などから…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「社会的な話題について、複数の論証文や記録文などから…必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細をまとめる活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、課題の解決策などを明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
5	6		Listeningの欄 (LESSON18-20)	生徒にとって理解し難い表である。 (本文中に該当する活動がない。)	3-(3)	
6	16	8	medicine, dyes and incense	表記が不統一である。 (22ページ7行に照らして、表記が不統一)	3-(4)	
7	24	側注2 3行	well-preservedの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
8	30	グラフ	Age 20-29 他：20-24 (2箇所) , 25-29 (2箇所)	誤植である。 (ハイフン)	3-(2)	
9	31	脚注2 行	certificateの発音表記	不正確である。 (第2音節)	3-(1)	
10	38	側注2 1行	legendaryの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-71		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	41		大問2（全体）	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 （内容の取扱い2（5）「…書くことの指導に当たっては…文章などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」）	2-(1)	
12	43	32	Apple 他：33行Siri	特定の営利企業、商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
13	74	右欄3行	20-22%	誤植である。 （ハイフン）	3-(2)	
14	81	囲み2行	Share your ideas	英語の現代慣用によっていない。 （1行experimentとの対応）	固有 2-(1)	
15	105	左欄4行	washing-upの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
16	113	2	～ Tales from Moominvalley 他：同 114—141ページ右上柱	誤植である。 （スワングダッシュ）	3-(2)	
17	142 - 153		文法のまとめ（全体）	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の（1）のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-72		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	表紙		THE FLEXIBLE LANGUAGE-LEARNING EXPERIENCE Discover the many enjoyable ways of using it in your classes to raise all of your skills in	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
			English			
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について、複数のニュースや講演などから…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「社会的な話題について、複数の論証文や記録文などから…必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細をまとめる活動。」)	2-(1)	
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。」)	2-(1)	
5	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
6	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
7	全巻	全体	図書の内容全体	図書の内容と「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の領域別の目標との関係が明示されていない。	固有 1-(1)	
8	9	7 - 8	teaching it to children	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
9	10	脚注1 行	deforestationの発音表記 他：11ページ脚注2行revitalize, 脚注3行reintroduce, 105ページ脚注3行resold, 143ページ脚注1行recirculateの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-72		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	11		Use the Skills (全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(2)	
11	12	脚注3 行	accelerateの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
12	13	30	Then, 他：26ページ11行, 40ページ10行, 45 ページ24行, 110ページ1行, 3行, 111 ページ17行, 124ページ15行, 139ペー ジ10行, 16行, 166ページ21行の同表	英語の現代慣用によっていない。 (コンマ)	固有 2-(1)	
			現			
13	13	脚注2 行	sustainabilityの発音表記 他：173ページ脚注1行admonition	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
14	15	22	賞味期限	誤りである。 (use-by dateとの対応)	3-(1)	
15	31	13	新型コロナウイルス	不正確である。 (COVID-19との対応)	3-(1)	
16	36	グラフ	1800-2050 (2箇所) 他：同グラフ1950-2050, 45ページ9行 20-30%, 66ページ1947-1968, 1985- 1986, 150ページ1979-1982	誤植である。 (ハイフン)	3-(2)	
17	39	8	began going up	英語の現代慣用によっていない。 (going up)	固有 2-(1)	
18	52	Bod y 3	the reason of the result	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-72		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	54	大問2表	Table 1 (全体)	生徒にとって理解し難い表である。	3-(3)	
20	58	15	in a ceremony	表記が不統一である。 (26行at the ceremonyとの対応)	3-(4)	
21	59	脚注4行	Harborの発音表記 他：72ページ脚注1行harmlessの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
22	87	13	are famous for their gorgeous wares 他：15-16行Their customs also tend to differ based on their group	生徒にとって理解し難い表現である。 (文脈との対応)	3-(3)	
23	89	脚注2行	well-knownの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
24	94	Body 1	a Jakuchu's works	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
25	97	1	his death	表記が不統一である。 (2行him / herとの対応)	3-(4)	
26	101	4 - 5	to learning language	表記が不統一である。 (7行to learning a language)	3-(4)	
27	103	2	Listen to the speech 他：117ページListen to the conversation, 159ページListen to the speech	相互に矛盾している。 (スクリプトとの対応)	3-(1)	
28	106	脚注1行	craftsmenの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-72		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
29	110	大問1	put the of number	誤りである。 (of)	3-(1)	
30	110	大問1	写真 (3枚)	生徒にとって理解し難い写真である。	3-(3)	
31	110	大問3	share	表記が不統一である。 (111ページ大問4, shareに照らして, コンマの付け方が不統一)	3-(4)	
32	111	大問3	share each poster with each other	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
33	113	下段 2	in the Edo	不正確である。 (地名なのか時代なのか不明)	3-(1)	
34	113	下段 2	people in the Edo were used as fuel to burn something	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
35	114	12 - 14	② (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
36	114	16	tissue from any part of the body	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
37	117	12	lunchbox	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
38	118	脚注1 行	self-esteemの発音表記 他: 120ページ脚注1行co-worker	表記が不統一である。 (120ページ1行self-worthの発音表記に照らして, スペースの空け方が不統一)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-72		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
39	125	大問3	share it in your partner	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
40	125	表	(What)	表記が不統一である。 (同行(Who):及び(How):との対応)	3-(4)	
41	128	24	in herds in groups	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
42	136	27	efforts	誤記である。 (effortsの位置)	3-(2)	
43	137	13	and grow up	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
44	139	下段 1	Leave	表記が不統一である。 (語頭の大文字)	3-(4)	
45	147	脚注2 行	idealの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
46	150	Bod y 3	4-7 他:164ページ3-5, 7-9	誤植である。 (ダッシュ)	3-(2)	
47	153	大問3	イラスト内の○及び×	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (記号)	3-(3)	
48	170 - 173		Optional Reading (全体)	生徒にとって理解し難い活動である。 (どのように活動するのか理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-73		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について、複数のニュースや講演などから…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
2	14	2	Van Gogh, Vin・cent	誤記である。	3-(2)	
3	30	下段	Tips(全体) 他: 42, 54, 114, 128, 142ページのTips(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
4	58	14 - 16	Others who listened only to Mandarin sounds from non-interactive audio recordings did not.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (59ページ右上グラフに照らして、断定的に過ぎる。)	3-(3)	
5	66	21 - 22	Do you ... ?は/du:ju:/ではなく、しばしば/dʒu:/という音になります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (23行「同化」との対応)	3-(3)	
6	68	側注 10行	beyondの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
7	68	11	formats — apps のダッシュ 他: 133ページ7行, 145ページ36行, 146ページ(2箇所), 150ページ13行, 153ページ26行, 158ページ(2箇所), 161ページ(2箇所), 162ページ10行,	誤植である。 (ダッシュ)	3-(2)	
			165ページ23行のダッシュ			
8	82	3	By being injected a weaker form	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞がない。)	固有 2-(1)	
9	83	左写真 下	ソーシャルディスタンス	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-73		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	83	グラフ	新型コロナウイルス	不正確である。 (COVID-19との対応)	3-(1)	
11	83	グラフ	新型コロナウイルス (COVID-19)	表記が不統一である。 (同行では新型インフルエンザ(2009)と表記)	3-(4)	
12	85	10	Keeping social distance. 他：89ページ6行keep social distance	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
13	93	下段	6 Why do people who play sports should	英語の現代慣用によっていない。 (should)	固有 2-(1)	
14	98	上囲み	Boiled chicken liver in cream 他：100ページ2行	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文に照らして、理解し難い料理名)	3-(3)	
15	98	上囲み	Pepper: a little	英語の現代慣用によっていない。 (a little)	固有 2-(1)	
16	98	3	put some salt and pepper on them	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
17	98	6 - 7	grill both sides of the liver	英語の現代慣用によっていない。 (grill)	固有 2-(1)	
18	99	下段② 3. b	on a frying pan	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
19	99	19	some sake	英語の現代慣用によっていない。 (some)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-73		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	99	23	on them	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
21	100	5	Shortage of energy	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
22	101	11	Chili pepper	誤記である。 (語頭の大文字)	3-(2)	
23	101	13	Mix the whitebait into them	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
24	121	下囲み	非対称性	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく、理解し難い。)	3-(3)	
25	121	下囲み	将来は文系／理系どちらの進路に進みたいか(男女別)	生徒にとって理解し難い表現である。 (調査の対象が不明で、理解し難い。)	3-(3)	
26	126	3	working outside 他：26行work outside	表記が不統一である。 (116ページ14行ではwork outside the homeと表記)	3-(4)	
27	132	側注 8行	assumeの発音表記	不正確である。 (英音表記)	3-(1)	
28	134 - 135	図	地図(全体)	生徒にとって理解し難い図である。 (都市を結ぶ線の有無について、理解し難い。)	3-(3)	
29	135	中囲み	そばにいた人といっしょに車いすごと担いでもらって	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明として、理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-74		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について、複数のニュースや講演などから…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「社会的な話題について、複数の論証文や記録文などから…必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細をまとめる活動。」)	2-(1)	
3	6	脚注2行	Lady Gagaの発音表記	不正確である。	3-(1)	
4	8	1	animals — koalas のダッシュ 他：2行目のダッシュ、50ページのダッシュ、94ページのダッシュ(2箇所)、122ページのダッシュ(3箇所)	表記が不統一である。 (15行ダッシュ(一)に照らして)	3-(4)	
5	10	7	Japanese traditional sense 他：11ページ9-10行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
6	10	10 - 11	Through this huge monument … being criticized. 他：11ページ23行 His message: "Believe in yourself."	太陽の塔のメッセージについて、一面的な見解を十分な配慮なく取り上げている。	2-(6)	
7	16	写真左	MORENO 他：写真右コクヨ株式会社, mori-no-oto, セブンプレミアムライフスタイルのロゴ	特定の営利企業、商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
8	20	14	日本語で答えましょう。 他：24ページ14行、32ページ18行の同表現	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
9	24	7 - 8	always required	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
10	25		Let's Try! (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-74		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	28	2	At the moment	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
12	30	脚注2 行	ichthyologyの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
13	36	5	nothing can be done to save them	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (天然痘にかかったら全く助からないと誤解するおそれ)	3-(3)	
14	40	上段	「各食品の生産に必要な水の量」の表	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
15	51	下段	Key Expression 他：61, 69, 79, 89ページ	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
16	52 - 53		都市を結ぶ線	生徒にとって理解し難い図である。	3-(3)	
17	68	2 - 3	Her name is Sazae, the main character in Sazae-san.	英語の現代慣用によっていない。 (節の主語)	固有 2-(1)	
18	88	5 - 6	in other countries 他：89ページ(2箇所)	生徒にとって理解し難い表現である。 (other countriesが指すものが理解し難い。)	3-(3)	
19	104	脚注1 行	reactの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
20	109	右下写真	TOPVALU	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-74		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	117	中段6行	a negative feeling	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
22	122	11	14-2 他：同127ページ25行	誤植である。 (ハイフン)	3-(2)	
23	123	中段1行	feel by the newspaper article	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
24	124	上写真 キャプ	この奇襲攻撃にアメリカ側が強く反発し、日本との戦争に踏み切った。	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
25	124	左囲み	1945. 4 米、沖縄本島上陸開始 東京大空襲、大阪大空襲が行われ、戦いはいっそう激化。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (大空襲の時期について誤解するおそれ)	3-(3)	
26	129	21	rehearse complex operations beforehand	英語の現代慣用によっていない。 (beforehand)	固有 2-(1)	
27	135	2	from the beginning	英語の現代慣用によっていない。 (the beginning)	固有 2-(1)	
28	140	2	～Moment～ 他：脚注1行の同表現	誤植である。 (スワングダッシュ)	3-(2)	
29	154	8	by adding liquid	英語の現代慣用によっていない。 (by adding)	固有 2-(1)	
30	156	20	food	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-74		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
31	157	写真	BASE BREAD及びsoylent	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
32	164	11	to tackle	英語の現代慣用によっていない。 (to 不定詞)	固有 2-(1)	
33	168	15	In its website	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
34	175	2	for long	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-75		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	8	最下行	a healthier	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
3	10	下囲み 7行	beautiful nature 他：同11ページ25行	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
4	10 - 20		Reading & Writing (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
5	29		Production	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…発表…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
6	34	7	1985 - 1943	誤りである。	3-(1)	
7	48	下囲み 2行	[t]の音が[r]の音に変化し、tとアクセントのない母音	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
8	74	下囲み 3行	「ッ」のような音になることが多い	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (音を出すと誤解するおそれ)	3-(3)	
9	84	2	an explanation	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-75		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	84	下囲み	long game, stop playing	相互に矛盾している。 (2行「前の音が省略される」との対応)	3-(1)	
11	96	グラフ	Kids' Top Ranked Professions By countryのグラフ	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(11)	
12	101	19	judgement 他：106ページ20行，108ページ下囲み 3行judgements	表記が不統一である。 (103ページ42行judgmentsに照らして，表記が不統一)	3-(4)	
13	119	図	日本地図	不正確である。	3-(1)	
14	120	5	A to B	誤記である。 (選択肢との対応)	3-(2)	
15	126	脚注	消える音	相互に矛盾している。 (important, eaten, cotton, certainとの対応)	3-(1)	
16	128	上囲み 6行	filler	相互に矛盾している。 (想定される答えとの対応)	3-(1)	
17	128	4 - 5	Toastmasters public-speaking club 他：脚注1行の同表現	特定の団体の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
18	132	15 - 16	○及び× 他：142ページ10行の同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (記号)	3-(3)	
19	136	下囲み 3行	prevent it	相互に矛盾している。 (下囲み2行の説明との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-75		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	152	4 - 16	発音の違い（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
21	156	8	an a Mexican	誤記である。 (冠詞)	3-(2)	
22	160	1	good sleep 他：同3行, 4行, 7行	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
23	180	Lesson	craftsmanの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
24	187	1	入試頻出レベルの単語です	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習の目的について誤解するおそれ)	3-(3)	
25	裏表紙 見返し	「焦点 化など	相手 の期待	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-76		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	本図書に用いられている新語数	図書の中で用いられている英語の新語数は、学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)に示す「700～950語程度の新語」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について、複数のニュースや講演などから…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「社会的な話題について、複数の論証文や記録文などから…必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細をまとめる活動。」)	2-(1)	
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、課題の解決策などを明確な理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
5	16		接頭辞(全体) 他：24, 56, 70, 104, 118, 145ページの接頭辞(全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(2)	
6	24	poly- y-	一夫多妻制	相互に矛盾している。 (同行polygamousとの対応)	3-(1)	
7	32 - 35		多義的な基本名詞①(全体) 他：66-69ページ多義的な基本名詞②(全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(2)	
8	39	30	50-100 million 他：106ページ2行1838-1920	誤植である。 (ハイフン)	3-(2)	
9	65	右囲み	low	相互に矛盾している。 (同行(法学)との対応)	3-(1)	
10	67	④	You're got a point there.	誤りである。 (be動詞)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-76		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	69	①例文	The beach is a long way from here.	誤植である。 (フォント)	3-(2)	
12	98	14 - 15	人類が誕生したのはほんの20万年前	相互に矛盾している。 (99ページ写真下では、40万年前と表記)	3-(1)	
13	98	15	46億年(4.6 billion)	表記が不統一である。 (14行では、6600万(66 million)年と表記)	3-(4)	
14	99	Exp res	Write your comment about 100 words about the following statement	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
15	125	Ste p 1	think about persuasive slogans	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
16	127	右下囲 み	3R	表記が不統一である。 (下囲みでは、3Rsと表記)	3-(4)	
17	142	最下行	吟遊楽人	生徒にとって理解し難い表現である。 (129ページ18行との対応)	3-(3)	
18	143	8	rollickの発音表記	不正確である。 (長音符)	3-(1)	
19	143	13	元気を出して	生徒にとって理解し難い表現である。 (135ページ63行との対応)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-77		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について、複数のニュースや講演などから…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「社会的な話題について、複数の論証文や記録文などから…必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細をまとめる活動。」)	2-(1)	
3	2	第2欄 4段	way	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
4	2	第2欄 9段	have/get something done, Reporting verbs 他：86ページ左欄11-12行Reporting verbs, Gerunds and infinitives (2)	相互に矛盾している。 (87-88ページGRAMMAR GUIDEとの対応)	3-(1)	
5	3	第3欄 3段	Information about a demonstration	相互に矛盾している。 (38ページ大問29との対応)	3-(1)	
6	4 - 9	囲み	GRAMMAR GUIDE(6箇所)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
7	7	31	check on Workbook page 109 他：9ページ12行check on Workbook page 110	生徒にとって理解し難い表現である。 (参照ページとして理解し難い。)	3-(3)	
8	16	6	them	相互に矛盾している。 (5行a favouriteとの対応)	3-(1)	
9	22	10	Coca-Cola 他：30行, 23ページ6行, 71行の同表現及び22ページ13行, 23ページ56行のCoke	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
10	22	25	As result	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-77		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅢ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	24	43	doesn't say	相互に矛盾している。 (42行the sentencesとの対応)	3-(1)	
12	45	31	assistants	脱字である。 (同行・teachersに照らして)	3-(2)	
13	48	30	than makes	誤りである。 (than)	3-(1)	
14	53	写真	写真(2箇所)	生徒にとって理解し難い写真である。 (レッスン内の本文との対応)	3-(3)	
15	66	6	1669	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (出版された年次だと誤解するおそれ)	3-(3)	
16	80	16	appy	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
17	113	12 - 22	表	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(11)	
18	124		VOCABULARY EXTENSION(全体) 他：126, 127, 128, 129, 130, 132ページ のVOCABULARY EXTENSION(全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-42		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(ア)の「日常的な話題について、ニュースや新聞記事などの複数の資料を活用して…課題を解決するために話し合ったりする活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「…社会的な話題に関して…複数の資料を活用して、意見や主張、課題の解決策などを効果的な理由や根拠とともに詳しく伝え合ったりするディベートやディスカッションをする活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題について…複数の資料を活用して…効果的な理由や根拠とともに詳しく伝えるまとまりのある長さのスピーチやプレゼンテーションをする活動。」)	2-(1)	
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「…社会的な話題について…複数の資料を活用して…意見や主張などを効果的な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
5	6	音の脱落	同じ音が重なったときは一方が消える 例) red dragon / hot topic 他：音の連結：つながって滑らかに発音される	不正確である。 (説明及び例として不正確)	3-(1)	
6	6	中段	★A(全体)	生徒にとって理解し難い活動である。 (「音の脱落・連結・同化」との対応)	3-(3)	
7	7	5	I wanted to talk to her again.	不正確である。 (赤字)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-42		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
8	7	11	No, it's not me, but Tom who to decide.	不正確である。 (赤字)	3-(1)	
9	7	11	Tom who to decide.	誤りである。 (動詞がない。)	3-(1)	
10	15	17 - 18	We should buy older...foods.	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
11	17	最下行	★資料A～Fについて、読み取れることや気づいたことを話し合ってみよう。	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…やり取り…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
12	18	2	解決策	生徒にとって理解し難い活動である。 (1が指示文であることに照らして、理解し難い。)	3-(3)	
13	23	資料E	personal challenges	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
14	24	上段	大問1(全体) 他：25, 48, 49ページの大問1(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習活動について誤解するおそれ)	3-(3)	
15	24	中段	大問2(全体) 他：25, 48, 49ページの大問2(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
16	26	中段	B What advice does the student give?	英語の現代慣用によっていない。 (時制)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-42		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
17	27	5	sing along with your favorite songs	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
18	28	資料C	It's a real language	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (real)	3-(3)	
19	30	中段	大問2(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習活動について誤解するおそれ)	3-(3)	
20	31	上段	大問1(全体)	生徒にとって理解し難い設問である。	3-(3)	
21	35	資料E	Yes.	英語の現代慣用によっていない。 (文脈)	固有 2-(1)	
22	38	B	What kind of things may they do this week? a. They may swim and see a shark in the sea.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
23	39	Q	シャークウィークに行われることを本文からさがして、日本語で箇条書きにしてみよう。	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
24	41	資料D	Noche De Brujas	表記が不統一である。 (Feria Nacional de San Marcosに照らして、語頭が不統一)	3-(4)	
25	47	資料C	SNS 他：59ページ資料Eの同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
26	47	資料D	and children try to hit it with a stick. When successful,	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (説明が不足しており、ピニャータについて誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-42		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
27	57	9	jazz band club	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
28	66	6	Material for Thinking	表記が不統一である。 (64ページ1行では、Materials for Thinkingと表記)	3-(4)	
29	70	2	We have three reasons. 他：79ページ2行We have...reasons.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
30	70 - 75		メモ欄(全体) 他：71ページ効率的なメモの取り方(全体)	生徒が誤解するおそれのある活動である。 (学習活動について誤解するおそれ)	3-(3)	
31	86	スクリプト	1行 What an amazing performance.	英語の現代慣用によっていない。 (ピリオド)	固有 2-(1)	
32	86	日本語訳例	8行ありあますか	誤記である。	3-(2)	
33	90	日本語訳例	シャークウィークとは、カレンダーには載っていないアメリカの祝祭日です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
34	94	スクリプト	So, why did you come to Gifu?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
35	裏見返④		Evaluation Checklist(全体) 他：裏見返⑤ページWriting Checklist(全体), 裏見返⑥ページSpeech Checklist(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-43		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	6	●結果	everything	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
2	9		Model Dialogの日本語訳（全体） 他：15, 23, 29, 37, 43, 51, 57ページ Model Dialog, 20, 34, 48ページ Scene①②③, 67ページModel Writing, 77ページModel	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 （2（1）「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」）	2-(1)	
			Presentation①②③④, 87ページ Model Discussion, 97-99ページModel Debateの日本語訳（全体）			
3	9	ModelD	14行 in this summer vacation 他：Basic Activity5行の同表現	英語の現代慣用によっていない。 （前置詞）	固有 2-(1)	
4	9	BasicA	1, 3行 during Golden Week holidays 他：12ページStep 2の3行の同表現	表記が不統一である。 （9ページModel Dialog2行during the Golden Week holidaysと表記が不統一）	3-(4)	
5	16	A④	Do you dislike [hate] talking ...?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
6	18	Step1①	Teacher.	誤記である。 （ピリオド）	3-(2)	
7	18	STEP1	例A: nursing is popular job	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
8	23		Model Dialog（全体） 他：26-27ページMain Activity（全体）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （エコツーリズムについて誤解するおそれ）	3-(3)	
9	26	Step1	8行 Ecotourism, Conservation, Preservation	誤記である。 （語頭の大文字）	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-43		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	26	STE P2	③ go around a tourist spot	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
11	33	4	Dear Sirs or Madams,	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
12	34	2	personal lesson	英語の現代慣用によっていない。 (personal)	固有 2-(1)	
13	35	1	English Proverb	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
14	37	19 - 20	see your best friend	英語の現代慣用によっていない。 (your)	固有 2-(1)	
15	44	C⑩	たとえ雪が…いるべきです。	相互に矛盾している。 (英語との対応)	3-(1)	
16	48	10 - 11	We met at our high school.	英語の現代慣用によっていない。 (場面との対応)	固有 2-(1)	
17	49	②	which books to buy	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
18	49	③	to the ().	不正確である。 (日本語との対応)	3-(1)	
19	52	A③	bake them	英語の現代慣用によっていない。 (bake)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-43		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	58	C⑧	Those footprints left on the beach must be the sea turtle.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
21	58	C⑨	temples which can show us	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
22	59	Con nec	2-3行 Shibusawa Eiichi is a man, who ... farmer, and contributed	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
23	64	Wor ds&	4行 part-time	不正確である。 (日本語との対応)	3-(1)	
24	65	①In tro	I have two reasons. 他：97ページ12-13行We have two reasons.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
25	66	大問1	4-5行 my opinions can be accepted by the boss more easily.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (文脈との対応)	3-(3)	
26	66	大問1	5-6行 a nice to work in.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
27	66	大問3	3行 that in other countries.	英語の現代慣用によっていない。 (that)	固有 2-(1)	
28	67	14	I came to be interested	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
29	70	上段	Write in Paragraph	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-43		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
30	70		Step 1 (全体)	生徒が誤解するおそれのある活動である。 (学習活動について誤解するおそれ)	3-(3)	
31	72	1	Kairyudo Today	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
32	72	4 - 16	About 30% of the young Japanese women ... from a shrinking pool of workers.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (女性の就業について)	3-(3)	
33	72	右欄 4行	play the homemaker	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
34	73	下段グ ラフ	trying yo help	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
35	77	スライ ド②	①can study everywhere ②can study our own pace	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
36	78	Act ivi	大問1 (全体) 他：79ページ大問3 (全体)	生徒が誤解するおそれのある活動である。 (学習活動について誤解するおそれ)	固有 2-(1)	
37	89	中段左	will not to get sick	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
38	91	Fur the	①Should all the cars will be	誤りである。	3-(1)	
39	91	Fur the	②smartphones disappear in the near future	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-43		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
40	104	1 - 2	文法のまとめ 本課で学習した文法事項を…しましょう。 他：106, 108, 110ページの同表現	相互に矛盾している。 (4ページ⑥Focusの凡例との対応)	3-(1)	
41	107	Lesson	3-4行 put this new product for sale 他：13行put it for sale	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
42	109	右グラフ	I'll rely on my family	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-44		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(ア)の「日常的な話題について…複数の資料を活用して…課題を解決するために話し合ったりする活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	図書の内容と「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の領域別の目標との関係が明示されていない。	固有 1-(1)	
3	6	Sample	5-6行 they can become proficient enough to be understood without difficulty	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有 2-(1)	
4	7	Pre sen	Getting Ideas 大問① 他：17, 29, 61, 73ページのGetting Ideas 大問①, 51, 83ページのGetting Ideas	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)の「単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
5	7	下段	Speech (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…発表…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
6	8	賛成意見	8-9行 the idea of allowing students to choose other language to study.	相互に矛盾している。 (テーマとの対応)	3-(1)	
7	10 - 11		TASK①及びIntegrated Summary (全体) 他：20-21, 32-33, 42-43, 54-55, 76-77ページのTASK①及びIntegrated Summary (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 ((2)(1)「単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
8	12 - 13		BRUSH UP ① (全体) 他：22-23, 34-35, 44-45, 56-57, 66-67, 78-79, 88-89ページのBRUSH UP ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧ (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
9	13		大問4 (全体) 他：23, 35, 45, 57, 67, 79, 89ページの大問4 (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)の「単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-44		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	13		TRY (全体) 他：23, 24, 35, 36, 45, 46, 57, 58, 67, 68, 79, 89, 90ページのTRY (全体)	生徒にとって理解し難い活動である。 (4ページ23行「TRYで自分の意見をまとめる」に照らして、理解し難い活動である。)	3-(3)	
11	17	①Getti	②d. the average woman	生徒にとって理解し難い表現である。 (どこの国かについて言及されておらず、理解し難い。)	3-(3)	
12	19		Analysis (全体) 他：31, 41, 85ページのAnalysis (全体)	生徒が誤解するおそれのある活動である。 (学習活動について誤解するおそれ)	3-(3)	
13	23	TRY	例文及び「上の文章を参考に…みよう。」 他：35, 45, 57, 67, 79, 89ページのTRYの例文及び「上の文章を参考に…みよう。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (参考にする例文が完成されておらず、活動できないおそれ)	2-(1)	
14	33	グラフ	This makes a point in the year	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
15	33	グラフ	Earth Overshoot Dayのグラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
16	35	大問② 4.	●gain=get gradually	不正確である。 (4. との対応)	3-(1)	
17	36	TRY 8行	preparafory	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
18	39	Get tin	②e. upper-class people	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
19	42	Words&	5行 好意的な,	誤植である。 (コンマ)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-44		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	48	CHECK	1. Wild animals are rapidly rarer.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
21	48	CHECK	3. my sister, (), like	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)	
22	60	Sample	9-10行 nudge theory technique	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
23	62	Task	Article A4行 a "Problem-Discovery Day,"	英語の現代慣用によっていない。 (a)	固有 2-(1)	
24	68	TRY 1.	アフリカでは40歳に満たない国もある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (アフリカの平均寿命について)	3-(3)	
25	69 - 70		Column ③	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
26	70	中段	② Australia is larger	英語の現代慣用によっていない。 (形容詞の形)	固有 2-(1)	
27	92	上段	TRY	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)の「単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
28	92	上段右	本の写真	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。 (角川文庫)	2-(7)	
29	95	③Conclusion	①short speech/presentationの場合 Thank you…で結びとする。	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-44		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
30	95	①Voice	③so that the speech has pleasing intonation (声の高低の変化を持たせて)	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
31	104 - 116		基本例文集 (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
32	116	2.と 6.	行かれる。(2箇所)	不正確である。	3-(1)	
33	116	下段右 絵	SANSEIDO及び三省堂	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-45		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「…社会的な話題について…複数の資料を活用して…意見や主張などを効果的な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	6		英語の表現を効果的に身につけよう(全体) 他:118ページ グラフを使うときの表現(全体), 119ページ 数字の読み方と数の表現(全体), 裏見返 AREAで論理的に意見を伝えよう(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
3	9	WORDS	3行surveyの発音表記	相互に矛盾している。 (日本語訳との対応)	3-(1)	
4	11	TRY	質問やコメントをしてみよう。	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…やり取り…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
5	11	Useful	Useful Expressions(全体) 他:Unit1各LessonのUseful Expressions(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
6	13	Exercise	大問3(全体) 他:Unit1各LessonのExercise大問3(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
7	20	7	over 50 years old	相互に矛盾している。 (グラフ◆50 and overとの対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-45		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
8	21	WORDS	2行amusement parkの発音表記 他：3行cherry blossom, 57ページ2行woodblock print, 69ページ3行voting rate, 92ページB②wind chimes,	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
			102ページ語注food poisoningの発音 表記			
9	22	上段	Step ①1(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習活動について誤解するおそれ)	3-(3)	
10	22	下段	Step ①2(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
11	28		Step ①(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
12	37	中段	Step ④(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
13	39	WORDS	functionalityの発音表記	不正確である。 (第2音節の発音表記)	3-(1)	
14	46		Step ①(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱い が不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指 導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
15	52	上段	Step ①1(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱い が不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような 指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
16	52	下段	Step ①2(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-45		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
17	58		Step ①(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
18	64	左上囲み	4行systems. They	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	
19	70		Step ①1(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
20	70	表	選挙に行かなかった理由(全世代)	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
21	70	中段	Step ①1(全体)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (表を参考にしながら活動できないおそれ)	2-(1)	
22	71	Useful	1□若い世代が投票しないのは、投票日に忙しすぎるからだと思います。 I think young people don't vote because they are too busy on voting days.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (投票について誤解するおそれ)	3-(3)	
			他：2□例えば…生徒もいます。 For example, …on weekends. 3□他の学生たちは…忙しすぎます。 Other students…entrance exams.			
23	82	④	④(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習活動について誤解するおそれ)	3-(3)	
24	82	⑤⑥	⑤⑥(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
25	84 - 85	①-⑤	Step①②③④⑤(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (Step⑥「英語で下書きを書いてみよう」に照らして、日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-46		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	17	グラフ	グラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
2	18	本文 6行	ownership	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
3	20	Figure	Taking care 他：Everyday walk	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
4	20	Figure	グラフ 他：26ページFigure 2, 32ページFigure 2, 38ページFigure 1, Figure 3, 58ページFigure,	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	
			66ページFigure 1			
5	24	最下行	保険の窓口インズウェブ	誤記である。	3-(2)	
6	40	5)	The more we are curious the more we try to learn.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
7	42	Useful	empathetic	相互に矛盾している。 (日本語訳との対応)	3-(1)	
8	42	図	brain power	英語の現代慣用によっていない。 (2語表記)	固有 2-(1)	
9	43	3	Unit 12	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-46		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	46	囲み2行	waiter	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
11	46	囲み4行	ASL	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
12	46	囲み8-9行	see other's smile	英語の現代慣用によっていない。 (other's)	固有 2-(1)	
13	48	吹き出し1つ	There are a lot of new technology	英語の現代慣用によっていない。 (be動詞)	固有 2-(1)	
14	48	吹き出し4つ	those information	英語の現代慣用によっていない。 (informationとともに用いるthose)	固有 2-(1)	
15	52	囲み7-8行	To achieve gender equality it is	英語の現代慣用によっていない。 (コンマがない。)	固有 2-(1)	
16	60	最下行	d. Helps Catch Criminals	表記が不統一である。 (動詞の形)	3-(4)	
17	68	吹き出し4つ	heart disease, may slow	英語の現代慣用によっていない。 (コンマ)	固有 2-(1)	
18	80	Art icl	2行 but, he	誤記である。 (コンマ)	3-(2)	
19	88	吹き出し1つ	the average temperature rise	誤りである。 (主語に対応する動詞)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-47		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	図書の内容と「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の領域別の目標との関係が明示されていない。	固有 1-(1)	
2	3	2	特別ページ「推敲する」 他：7ページ16, 17行, 9ページ9行の 同表現	表記が不統一である。 (92ページタイトル「推敲する」に照らして, 表記 が不統一)	3-(4)	
3	3	中段	I can discuss what a high school student should do to improve their health. 他：25ページ柱の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
4	9	6	ディスカッションの表現と評価シート	相互に矛盾している。 (86-91ページとの対応)	3-(1)	
5	15	3	experience the real situations. の 塗色	相互に矛盾している。 (14ページ10-11行との対応)	3-(1)	
6	17	12	about 100 words of at least one paragraph 他：23ページ14行, 25ページ11行の同 表現, 41ページ11-12行, 43ページ13 -14行about 100 words of at least	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
			two paragraphs, 47ページ18行, 49ペ ージ15行, 59ページ15-16行, 61ペ ージ15-16行, 65ページ17行, 67ペ ージ15-16行about 200 words of at least two paragraphs			
7	21	柱	スピーチ / プレゼンテーションの表 現と評価シート 他：27ページ柱, 51ページ柱, 57ペ ージ柱の同表現	表記が不統一である。 (86ページのタイトルに照らして, 表記が不統一)	3-(4)	
8	21	6	I thought I need to	英語の現代慣用によっていない。 (時制)	固有 2-(1)	
9	21	8	I wasn't could	誤りである。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-47		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	23	7	what the advantages of each option.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
11	24	7	belonged to 他：28ページ33行belong to	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
12	26	10	Walking is	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	
13	28	18	School sports teams are not played	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
14	28	31 - 32	basketball and volleyball are popular for students.	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
15	30	10	reading the air 他：30ページ16行，72ページ22行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
16	31	5	In pair	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
17	31	6	Japan is in a high-context culture	表記が不統一である。 (1行Japan is a high-context cultureに照らして，表記が不統一)	3-(4)	
18	33	11	shallow meaningless.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
19	38	6 - 7	A speaker tells the other members problems you had when you ... what you	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-47		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	39	6 - 7	I felt scary	英語の現代慣用によっていない。 (scary)	固有 2-(1)	
21	44	上段	Situation (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (場面設定及び会社の概要について理解し難い。)	3-(3)	
22	45	25	Childcare	誤記である。 (語頭の大文字)	3-(2)	
23	52	グラフ	Figure 1	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
24	62	4	Group B disagrees that opinion.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
25	62	最下行	AI teacher	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
26	63	42	Judgment	表記が不統一である。 (88ページ3行Judgementに照らして、表記が不統一)	3-(4)	
27	64	グラフ	グラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
28	66	14	Figure1	誤植である。 (スペースがない。)	3-(2)	
29	69	23	have to something	誤りである。 (動詞がない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-47		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
30	86	25	Summarizing your speech/presentation.	相互に矛盾している。 (27行との対応)	3-(1)	
31	86	27	Thank you for listening. / Thank you for your attention.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (スピーチの長さに関わらずお礼の言葉が必要だと誤解するおそれ)	3-(3)	
32	87	26	was	誤りである。	3-(1)	
33	90	9	Giving for an opinion	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 104-48		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「…社会的な話題に関して…複数の資料を活用して、意見や主張、課題の解決策などを効果的な理由や根拠とともに詳しく伝え合ったりするディベートやディスカッションをする活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題について…複数の資料を活用して…効果的な理由や根拠とともに詳しく伝えるまとまりのある長さのスピーチやプレゼンテーションをする活動。」)	2-(1)	
3	4 - 5		Example (全体), Activities (全体) 他: 6, 8, 10, 12ページのExample (全体), 7, 9, 11, 13ページのActivities (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
4	14	24	発展的な活動	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全員が取り組まなくてもよいと誤解するおそれ)	3-(3)	
5	19	CAN-DO	全体 他: 各LessonのCAN-DO	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (Can-do Statementsについて誤解するおそれ)	3-(3)	
6	23	31	potencial	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
7	44		Point ① (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
8	56	17	20th-23rd 他: 59ページ6行20-40, 8行20-35, 10行30-50, 84ページ9行£ 180 - £ 230, 16行9 a.m. - 5 p.m., 85ページ15行7 a.m. - 10 p.m., 90ページ上段4	誤植である。 (ハイフン)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-48		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			か所, 36行10-12, 92ページ1(1)3箇所			
9	58	12 - 13	this number	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (数字の15と誤解するおそれ)	3-(3)	
10	68	1	to help him write	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
11	78	16	We have two [three~] reasons.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
12	81 - 93		Further Activities for Lesson (全 体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「論理・表現Ⅲ」で行う学習について誤解するお それ)	3-(3)	
13	94 - 97		Useful Expressions(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
14	98	左欄 22-	バイオマスといった温室効果ガスを排 出しない	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (バイオマス発電では温室効果ガスを排出しないと 誤解するおそれ)	3-(3)	
15	103		ループリック (評価基準表) (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
16	103	29 - 30	出典表示	不正確である。 (92ページFigure 1, 2, 3との対応)	3-(1)	
17	裏見返 Ⅳ	上段	license/licence	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-49		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(ア)の「日常的な話題について、ニュースや新聞記事などの複数の資料を活用して…課題を解決するために話し合ったりする活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「…社会的な話題に関して…複数の資料を活用して、意見や主張、課題の解決策などを効果的な理由や根拠とともに詳しく伝え合ったりするディベートやディスカッションをする活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題について…複数の資料を活用して…効果的な理由や根拠とともに詳しく伝えるまとまりのある長さのスピーチやプレゼンテーションをする活動。」)	2-(1)	
4	8	28	発展的な内容	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全員が取り組まなくてもよいと誤解するおそれ)	3-(3)	
5	10	最下行	②Read out your answers to your partner. 他：Part1の各Lessonにある同表現	生徒にとって理解し難い活動である。	3-(3)	
6	15	16	What else will you be able to look forward to doing?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
7	24	吹き出し5つ	Yes, of course, as long as you don't post any with us in them.	英語の現代慣用によっていない。 (文脈)	固有 2-(1)	
8	32	10 - 15	英語を学ぶために最適な電子機器(全体) 他：36、40ページ10-15行、 44ページ10-16行、 48ページ11-16行	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-49		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
9	35	18	書いた文章をパートナーとチェックし、気づいたことを伝え合おう。	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…やり取り…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
10	48	表	表	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(11)	
11	56	21	We have two [three~] reasons.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
12	59 - 69		Further Activities(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「論理・表現Ⅲ」で行う学習について誤解するおそれ)	3-(3)	
13	62	左欄 5行	2 p.m. - 3.30 p.m. 他：右欄5行6 p.m. - 7 p.m., 12行(2箇所), 63ページ9行£ 180 - £ 230, 16行9 a.m. - 5 p.m.,	誤植である。 (ハイフン)	3-(2)	
			64ページ15行7 a.m. - 10 p.m., 66ページ8行7-10 days 67ページFigure 1内の記号(7箇所), 3行70-79, 6行20-29, 8行50-59			
14	75		ライティングで確認すること(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
15	76	左欄 10行	sekihan (sticky rice with red beans)	表記が不統一である。 (11ページ22行では, sekihan rice with red beans と表記)	3-(4)	
16	77	左欄 31行	assistant professor	相互に矛盾している。 (日本語訳との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-49		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
17	87		ループリック（評価基準表）（全体）	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
18	87	33 - 34	出典表示	不正確である。 (67ページFigure 1, 2, 3との対応)	3-(1)	
19	裏見返 Ⅳ	7	license/licence	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)	
20	裏見返 Ⅳ	中段	●発音(全体)	不正確である。	3-(1)	
21	裏見返 Ⅳ	下段	…イギリスでは、イギリス発祥の「ヤード・ポンド法」が今も用いられます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (イギリスでは「ヤード・ポンド法」が公式単位だと誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-50		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	6	中段表	Your Voice② put a pause.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
2	6	中段表	Your Voice④ the persons	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
3	6	中段表	Your Voice⑤ Raise your voice at the end when you ask a question.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (イントネーションについて)	3-(3)	
4	6	中段表	Your Appearance② besides your visual aids	英語の現代慣用によっていない。 (besides)	固有 2-(1)	
5	8	7	change our school to coeducational	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
6	8	8 - 9	I belong to the choir...other club members.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
7	9	16	スピーチの最後には…Thank you. / Thank you for listening. など、お礼を述べて終わります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (スピーチの長さに関わらずお礼の言葉が必要だと誤解するおそれ)	3-(3)	
8	15	③右	Propotion	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
9	20	6	1.3 million. 1.3 million people 他：22ページ上段左④1,300,000 people, 14行1.3 million. One point three million people	不正確である。 (東京都の人口)	3-(1)	
10	20	6	1.3 million people	表記が不統一である。 (22ページ3行 One point three million peopleと表記が不統一)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 104-50		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	36	写真	希望コミックス 他：29行講談社，潮出版社，38ページ 11行集英社，20行講談社，27行Cork	特定の商品及び営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
12	36	32	in principal	相互に矛盾している。 (日本語との対応)	3-(1)	
13	40	19 - 30	①Topics and Useful Words for Describing School Life (全体) 他：43ページ12-21行③Topics and Useful Words for Describing a Natural Disaster and Responding to	相互に矛盾している。 (5ページReferenceの凡例との対応)	3-(1)	
			It (全体)			
14	41	6 - 9	(b) Study English, especially reading and listening ... on university entrance examinations.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (英語学習の目標及び目的について)	3-(3)	
15	41	37	bring it home to them 他：同行bring it home	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
16	42	①グラフ	others 他：43ページ②グラフの同表現	表記が不統一である。 (42ページ①グラフのUnknownと表記が不統一)	3-(4)	
17	46	8	We have two reasons. 他：16-17行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
18	49	18	NHS	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
19	60	6	assigning police officers to schools has begun in some cities. 他：61ページ3-4行の同表現，60ページ20行，62ページ2行some cities have already begun to assign	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (国内の状況だと誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-50		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			police officers			
20	68	グラフ	内閣府「基本的法制度に関する世論調査」2015, 2020年	不正確である。 (出典表示)	3-(1)	
21	69	②	The Criteria of the Death Penalty in Japan (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (確定した基準と誤解するおそれ)	3-(3)	
22	69	3	"unavoidable",	英語の現代慣用によっていない。 (コンマの位置)	固有 2-(1)	
23	69	4	as whole	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
24	69	31	死刑囚官房	誤記である。 (官房)	3-(2)	
25	70	30 - 31	enjoy school lunches with less leftover food.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
26	72	17	We (could / can) help reduce food waste (with / without) composting if we have other strategies.	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
27	72	27	/,	生徒にとって理解し難い表現である。 (スラッシュ)	3-(3)	
28	76	3 - 8	大問1. (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (空所に入る語句が複数あり理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-51		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(ア)の「日常的な話題について、ニュースや新聞記事などの複数の資料を活用して、情報や考え、気持ちなどを整理して話して伝え合った り、課題を解決するために話し合ったりする活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題について…複数の資料を活用して…効果的な理由や根拠とともに詳しく伝えるまとまりのある長さのスピーチやプレゼンテーションをする活動。」)	2-(1)	
3	14	写真	変なホテル及びHenn na Hotel	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	15		Useful Expressions for Good Logic (全体) 他：全UnitのUseful Expressions for Good Logic	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
5	27	上囲み 10行	in their teens 他：下囲み2段の同表現	相互に矛盾している。 (グラフ及び和訳との対応)	3-(1)	
6	28	グラフ	age: 10-19	誤記である。 (ハイフン)	3-(2)	
7	29	4	diagram	相互に矛盾している。 (下の図との対応)	3-(1)	
8	29	上囲み 5行	tendency 他：53ページ上囲みapplication, comparison, experience, feeling	表記が不統一である。 (characteristicsとの対応)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-51		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
9	30	上囲み 4-5	less than one fourth of all teenagers	相互に矛盾している。 (28ページグラフとの対応)	3-(1)	
10	40	1	discuss the cashless society 他：60ページ上囲み3-4行the energy generation, 4-5行the total energy generation, 下囲み5行the energy generation, 6行the total energy generation, 11行the renewable energy, 61ページ3行the energy generation	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
11	51	囲み9 行	a Japanese boxed lunch	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
12	52	Key wo	family prosperity	相互に矛盾している。 (子孫繁栄との対応)	3-(1)	
13	55	イラスト 右下	A rooftop garden	表記が不統一である。 (大文字)	3-(4)	
14	58	グラフ	Global total energy generation by type, 2012-2050	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)	
15	63	上囲み 7 -	While buying books is expensive, borrowing books is free, so you can gain a huge amount of information by reading lots of books.	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
			他：Useful Expressions for Good Logic 3 の同表現			
16	66	上囲み 1行	which textbook 他：下囲み1行の同表現及び上囲み6行，下囲み9行，67ページ4行のthe one	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-51		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
17	67	10	Check p.122 Writing a Multi-paragraph Essay	相互に矛盾している。 (122ページタイトルとの対応)	3-(1)	
18	72	上囲み 3行	giving others a lot of stress 他：下囲み6-7行の同表現	英語の現代慣用によっていない。 (giving)	固有 2-(1)	
19	83	2) 1行	①～⑦ 他：98ページ下囲み3行①～③, 119ページ最下行about ~ in	誤記である。 (スワングダッシュ)	3-(2)	
20	90	囲み1 0行	but	英語の現代慣用によっていない。 (前後の文脈との対応)	固有 2-(1)	
21	93	上囲み 3行	with a headphone	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
22	102	吹き出し 5つ	We talked about it too.	英語の現代慣用によっていない。 (it)	固有 2-(1)	
23	105 - 109		2 各スピーチの流れ (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (外国人は英語話者であると誤解するおそれ)	3-(3)	
24	106	1	Kansai Gakuin University	誤りである。 (Kansai)	3-(1)	
25	115	下囲み 12行	the government has focused much attention to how ...	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
26	124	30	Reference 他：32行の同表現	英語の現代慣用によっていない。 (117ページとの対応)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 104-52		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「…社会的な話題に関して…複数の資料を活用して、意見や主張、課題の解決策などを効果的な理由や根拠とともに詳しく伝え合ったりするディベートやディスカッションをする活動。」)	2-(1)	
2	表見返 ②	1	Teacher's Direction	表記が不統一である。 (表見返①ページ1行Teacher's Directionsと表記が不統一)	3-(4)	
3	表見返 ②	4	Move your desks together.	相互に矛盾している。 (日本語訳との対応)	3-(1)	
4	表見返 ②	31 - 33	Could you say that word in Japanese, please? (その単語を日本語で言ってくれますか) Could you explain that in Japanese? (それを日本語で説明して	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習活動について誤解するおそれ)	3-(3)	
			くれますか) What does ... mean in Japanese? (...は日本語でどんな意味ですか)			
5	6	2nd Ste	6行 He must be	英語の現代慣用によっていない。 (代名詞の使い方)	固有 2-(1)	
6	6	2nd Ste	9-10行 We can get there by boat.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (話者の視点があいまいで誤解のおそれ)	3-(3)	
7	9	TRY 4	イラストの時計	生徒が誤解するおそれのあるイラストである。 (時刻を誤解するおそれ)	3-(3)	
8	10	グラフ	東京圏および三大都市圏	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-52		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
9	10	上段	グラフ	表記が不統一である。 (11ページ上段グラフに照らして、推計値の表記がない。)	3-(4)	
10	10	上段	東京圏および三大都市圏の人口が総人口に占める割合のグラフ	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(11)	
11	10	1st Ste	in the big cities of Tokyo, Nagoya and Osaka 他：2nd Step 1行の同表現	相互に矛盾している。 (東京圏および三大都市圏との対応)	3-(1)	
12	11	上段グラフ	64 yrs old and older	不正確である。 (15-64 yrs oldとの対応)	3-(1)	
13	15		Further Step (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
14	15	19	sties	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
15	19	Spe aki	Haruka…会話をしてみよう！	相互に矛盾している。 (Start-up対話文との対応)	3-(1)	
16	21	E-G uid	2行 a mountainous town 「山の多い街」	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
17	23	Sta rt-	…Kanataが…話しています。 他：Speaking 「…Kanataに…会話をしてみよう！」	相互に矛盾している。 (Start-Up対話文との対応)	3-(1)	
18	28	Pre sen	5行 the number of cars ... bicycles increase 他：Logical Structure④の同表現	英語の現代慣用によっていない。 (動詞の形)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-52		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	28	Pre sen	7行 "bicycle utopia?" 他：Logical Structure⑦, 30ページ ポスター11行の同表現	表記が不統一である。 (59ページStart-Up"water footprint"?と、クエス ションマークの位置が不統一)	3-(4)	
20	29	Ste p3	評価表 (全体) 他：45, 77ページStep 3及び61, 93ペ ージTask 4の同表	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (評価方法について)	3-(3)	
21	30	ポスタ ー	17行 Thank you.	英語の現代慣用によっていない。 (ポスターに用いられる表現として)	固有 2-(1)	
22	31	Act ive	6行 Races	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
23	32		1st Zone Review (全体) 他：48ページ2nd Zone Review (全体) , 64ページ3rd Zone Review (全体) , 80ページ4th Zone Review (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」 の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」 について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げ ていない。	固有 1-(3)	
24	33		ボキャブラリーを増やそう！ (全体) 他：49, 65, 81ページのボキャブラ リーを増やそう！ (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
25	37	表	「余暇活動」 (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (論理・表現Ⅲの学習について誤解するおそれ)	3-(3)	
26	39	Sta rt-	3行 It	誤記である。 (語頭の大文字)	3-(2)	
27	49		「ボキャブラリーを増やそう！」の練 習問題 他：65, 97ページの練習問題	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱い が不適切である。 (2(1)「単に…日本語を英語に置き換えるような 指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
28	52	Voc abu	3行 ゲリラ豪雨	不正確である。 (英語との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-52		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
29	53	TAS K2	(2) Thousands	誤記である。 (語頭の大文字)	3-(2)	
30	56	Read/L	6-7行 the Japanese government should put taxes on fossil fuels. 他：F-Guide3行の同表現, 58ページ Share8-9行 the Japanese government ... gasoline.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (化石燃料への課税について)	3-(3)	
31	56	Read/L	14行 encourage to	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
32	56	Check2	(3) cars	誤記である。 (ピリオドがない。)	3-(2)	
33	67	Start-	2行 hold	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
34	81		ボキャブラリーを増やそう！類義語編 (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (語彙を増やす学習方法について誤解のおそれ)	3-(3)	
35	83	Start-	2-3行 English, Spanish, Chinese.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
36	90	Step2	③ too many messages and too much information ... makes us tired.	英語の現代慣用によっていない。 (動詞の形)	固有 2-(1)	
37	98 - 99		Tips for an Interview in English (全体) 他：③ページ最下行“Taking an Interview Test in English”, ⑤ページ「面接で使う表現」(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「論理・表現Ⅲ」で行う学習について誤解のおそれ)	3-(3)	
38	98	Plus	I belong to the school brass band club	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-53		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(ア)の「日常的な話題について…複数の資料を活用して…課題を解決するために話し合ったりする活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題について…複数の資料を活用して…効果的な理由や根拠とともに詳しく伝えるまとまりのある長さのスピーチやプレゼンテーションをする活動。」)	2-(1)	
3	表見返 ②	4	Move your desks together.	相互に矛盾している。 (日本語訳との対応)	3-(1)	
4	表見返 ②	下3行	Could you say that word in Japanese, please? (その単語を日本語で言ってくれますか) Could you explain that in Japanese? (それを日本語で説明してくれますか) What does … mean in Japanese? (…は日本語でどんな意味ですか) ”	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習活動について誤解するおそれ)	3-(3)	
5	7	2nd St	He must be	英語の現代慣用によっていない。 (代名詞の使い方)	固有 2-(1)	
6	7	2nd St	We can get there by boat.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (話者の視点があいまいで誤解のおそれ)	3-(3)	
7	10	TRY 4	イラストの時計	生徒が誤解するおそれのあるイラストである。 (時刻を誤解するおそれ)	3-(3)	
8	11	グラフ	東京圏および三大都市圏の人口が総人口に占める割合 他：36ページグラフ1, 2	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-53		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
9	11	グラフ	東京圏および三大都市圏	不正確である。	3-(1)	
10	11	1st St	in the three big cities of Tokyo, Nagoya and Osaka 他：2nd Step 1行の同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (東京圏および三大都市圏との対応)	3-(3)	
11	12	グラフ	15-64及び0-4 他：24ページグラフ(3箇所), 36ページグラフ(6箇所), 64ページ図3, 82ページグラフ2(6箇所)	誤植である。 (ハイフン)	3-(2)	
12	12	グラフ 1	0-4 yrs old (children)	誤りである。 (子供を表す年齢)	3-(1)	
13	15		Further Step (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
14	16		スマートシティ(全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (活動とのつながりが理解し難い。)	3-(3)	
15	17		Forms & Expressions (全体) 他：21, 25, 31, 35, 39, 43, 49, 51, 57, 63, 71, 73, 77, 81, 85ページ	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
16	18	8	1603—1868	誤植である。 (ダッシュ)	3-(2)	
17	19	22 - 27	F-GUIDE 他：23, 53, 75, 79ページのF-GUIDE	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
18	28	31	natural environment 他：52ページ4行environment	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-53		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	33		Tips for building your vocabulary 1 (全体) 他：62ページTips for building your vocabulary 2 (全体)，96ページ Tips for building your vocabulary	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
			3 (全体)			
20	35	31	…動詞…のような内容語と呼ばれる語は強く発音され	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (すべての動詞が強く発音されると誤解するおそれ)	3-(3)	
21	37	CHECK	1. (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (36ページグラフとの対応)	3-(3)	
22	39	Sounds	つながって消える音	相互に矛盾している。 (30行get toやit takesとの対応)	3-(1)	
23	51	32	seriousの発音表記 他：57ページ30行competition, 31行generate, generationの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
24	52	グラフ 2	Energy issue 他：53ページ4行の同表現	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
25	53	5	eco-bags	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
26	55	5 - 6	make effort against global warming	英語の現代慣用によっていない。 (make effort)	固有 2-(1)	
27	56	1	Toward the Decarbonized World	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-53		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
28	57	32	guaranteeの発音表記	表記が不統一である。 (51ページ31行scaryの発音表記との対応)	3-(4)	
29	60	9	P. 61	表記が不統一である。 (53ページ18行p. 50に照らして、表記が不統一)	3-(4)	
30	64	図	図3	生徒にとって理解し難い図である。 (1. 01-4. 75 mm)	3-(3)	
31	91		CHECK 1 (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
32	91	CHECK	2. … accounting for more than 60%	相互に矛盾している。 (90ページ5にある59. 3%との対応)	3-(1)	
33	96		ボキャブラリーを増やそう！一類義語・反意語編 (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (語彙を増やす学習方法について誤解のおそれ)	3-(3)	
34	裏見返		Useful Expressions for Interviews (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「論理・表現Ⅲ」で行う学習について誤解のおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-54		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(ア)の「日常的な話題について…複数の資料を活用して…課題を解決するために話し合ったりする活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題について…複数の資料を活用して…効果的な理由や根拠とともに詳しく伝えるまとまりのある長さのスピーチやプレゼンテーションをする活動。」)	2-(1)	
3	表見返 ②	4	Move your desks together.	相互に矛盾している。 (日本語訳との対応)	3-(1)	
4	表見返 ②	下3行	Could you say that word in Japanese, please? (その単語を日本語で言ってくれますか) Could you explain that in Japanese? (それを日本語で説明してくれますか) What does … mean in Japanese? (…は日本語でどんな意味ですか)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習活動について誤解するおそれ)	3-(3)	
5	7	2nd St	He must be	英語の現代慣用によっていない。 (代名詞の使い方)	固有 2-(1)	
6	7	2nd St	We can get there by boat.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (話者の視点があいまいで誤解のおそれ)	3-(3)	
7	10	TRY 4	イラストの時計	生徒が誤解するおそれのあるイラストである。 (時刻を誤解するおそれ)	3-(3)	
8	11	グラフ	東京圏および三大都市圏の人口が総人口に占める割合 他：50ページFigure 1, 60ページ図2, 図3, 61ページ図5, 94ページ右図	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-54		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
9	11	グラフ	東京圏および三大都市圏	不正確である。	3-(1)	
10	11	1st St	in the three big cities of Tokyo, Nagoya and Osaka 他：2nd Step 1行の同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (東京圏および三大都市圏との対応)	3-(3)	
11	12	グラフ	15-64及び0-4 他：21ページ囲み(4箇所), 36ページグラフ(6箇所), 56ページFigure 1, 66ページ27行120-150	誤植である。 (ハイフン)	3-(2)	
12	12	グラフ 1	0-4 yrs old (children)	誤りである。 (子供を表す年齢)	3-(1)	
13	15		Further Step (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
14	17		Forms & Expressions (全体) 他：23, 27, 33, 35, 39, 43, 47, 49, 55, 59, 67, 69, 73, 77, 82, 85, 89, 99ページ	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
15	17	Sounds	全体	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)	
16	19	21 - 26	F-GUIDE 他：41, 51, 75, 87ページのF-GUIDE	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
17	27	Sounds	つながって消える音	相互に矛盾している。 (28行get theや29行could beとの対応)	3-(1)	
18	39	27 - 28	…動詞…のような内容語と呼ばれる語は強く発音され	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (すべての動詞が強く発音すると誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-54		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅲ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	48	図	最高気温の歴代全国ランキング上位10地点	生徒にとって理解し難い表現である。 (市町村名が混在していて理解し難い。)	3-(3)	
20	53		Tips for building your vocabulary 1 (全体) 他：83ページTips for building your vocabulary 2 (全体), 100ページ Tips for building your vocabulary 3 (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
21	54	左欄1 3行	Styrofoam	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
22	56	図	Figure 1	生徒にとって理解し難い図である。 (1.01-4.75 mm)	3-(3)	
23	61		CHECK (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
24	71	17	TASK 2に付されたアイコン	相互に矛盾している。 (25ページ17行アイコンに照らして、指示文に示された活動とアイコンとの対応)	3-(1)	
25	78	グラフ	グラフ 他：86ページFigure 1, Figure 2	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	
26	84	グラフ	グラフ 他：86ページFigure 3, Figure 4	不正確である。 (出典表示)	3-(1)	
27	95	Sounds	一方, friendsでは…意識するようにしよう。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

